

令和2年度 府立園部高等学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン)(計画段階)

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果(○)と課題(▼)	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>【教育方針】</p> <p>※真理を求め正義を愛する心身の健全な人となること(健全)</p> <p>※進取敢為の性と明朗闊達な風をもつ人になること(明朗)</p> <p>※敬愛と誠実の心をもって社会に生きる人となること(誠実)</p> <p>【教育目標】</p> <p>Global&Aware(世界へ、思いやりをもって)</p> <p>『自主的・主体的に物事を考え、自らの意見が言える生徒、人とコミュニケーションがとれる生徒の育成』</p> <p>【教育指導の重点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中高一貫教育の充実 2 特色ある学校づくりの推進 3 学力の充実と進路希望の実現 4 生徒指導の徹底 5 人権教育及び道徳教育の推進 6 国際理解教育の推進 7 教育相談及び特別支援教育の推進 	<p>【成果】</p> <p>○グローバルネットワーク京都をはじめ様々なコンテストで優秀な成績を収めることができた。</p> <p>○中高一貫コースでは、深い学びに結びつけるために総合的な探究の時間(クリエイション)のカリキュラムを再構築した。</p> <p>○生徒の主体性、コミュニケーション能力を養うため、今年度も英語によるレクレーション・スピーチコンテストやポスターセッション等での課題発表を充実することができた。</p> <p>○学料改変に伴い、京都国際科で培った成果をカリキュラムに反映することに努めた。</p> <p>○新たな海外交流校も出来、姉妹校・連携校との連携強化が進んでいる。</p> <p>○立藩400年事業を地域とともに盛り上げることに貢献した。</p> <p>【課題】</p> <p>▼ICT環境の充実を考えているが、整備まで至っていない。</p> <p>▼中学生向けのポスター、動画を作成し、広報活動の充実を図ったが、志願者数に結びついていない。</p>	<p>【育てたい生徒像】</p> <p>『自主的・主体的に物事を考え、自らの意見が言える生徒、人の気持ちにたって、人に接することができる生徒の育成』</p> <p>1 充実した学校生活</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 面白い授業及び学習意欲・学力の向上へ向けた取組の改善と検証 (2) 損得ではなく善悪で判断できる生徒を育てる指導の推進 (3) 健康・安全の保持と自己管理できる力の育成と様々な生徒のニーズに対応できる居場所の確保 (4) 安心・安全を感じられるホームルームと信頼できる担任・教職員との関係の構築 <p>2 信頼・安心できる学校</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 積極的な情報公開・情報交換により正確な情報を共有し、連携して指導できる体制の強化 (2) 双方相手の顔を見える連携の推進 <p>3 学校の様子と方向性の発信</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 様々な学校教育活動がみえる広報の展開 (2) 学校の方向性が見える広報の展開 <p>4 やりがいのある職場</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) お互い助け合える体制の強化 (2) 夢が語れる、連帯感のある、語り合える職場づくり <p>5 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報管理の徹底 (2) 魅力ある学校をアピールして、志願者数の増加を目指す

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題	次年度に向けての改善点
組織・運営	中高一貫教育の充実	高等学校と附属中学校がさらに連携を深め、6年間を通した指導計画及び指導体制を再構築するとともに、附属中学校のさらなる志願者数増を目指す。			
	特色ある学校づくりの推進	パンフレット、ポスター、ホームページ、For the FUTURE、学校説明会等をさらに充実させ、園部高校の魅力を大いに発信する。			
	国際理解教育の推進	国際交流企画を最大限実現させるとともに姉妹校協定等による海外交流校との関係強化を推進する。			
学習支援	基本的学習習慣の定着	基本的学習習慣を身につけさせ、家庭学習・自主学習の学習習慣の定着を図る。			
	言語活動の充実及びコミュニケーション能力の向上	学科・コースの特色に即したパフォーマンス課題を設定し、言語活動を充実させるとともにコミュニケーション能力の向上を図る。			
	新学習指導要領に即した授業改善	グローバルシンキングやクリエイション等総合的な探究の時間をはじめとする探究活動の授業実践を行う。			
生徒支援	ICT教育の充実	スマートスクール事業を推し進めるとともに、ClassiやYouTube等を活用したICT教育の充実を図る。			
	生徒指導の徹底	問題事象や問題行動の未然防止と早期発見・早期対処ができるよう教職員の指導体制づくりを進め、適切な指導を行う。			
	安心・安全に過ごせる学校作り	生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう環境づくり、支援を行う。			
進路支援	特別活動・部活動のさらなる活性化 自主活動の充実	生徒会活動・部活動をより活性化させ、生徒の自主性や協調性を育む。また、学年に関係なく、豊かな人間関係を形成できるよう学校行事を工夫し、企画・運営する。			
	教育相談・特別支援教育の推進	校内における分掌だけでなく、外部の関係機関と連携を密にし、生徒の状況や特性を把握し、適切かつ具体的な支援をすすめる。			
	学科・コースの特色を踏まえ、個に応じた適切な進路支援	学年ごとの到達目標、育てたい力を全教員で共有し、個に応じた適切な進路支援を行う。			
人権教育	生徒の主体的な行動を促す進路支援	進路IRや進路に関わる行事を通して、生徒が自らの進路を主体的に選択し、考え、行動できるよう支援する。			
	高大接続の研究	高大接続の研究をさらにすすめる			
	新入試制度に向けた進路支援	新入試制度や新学習指導要領に関わる最新の情報収集を行い、生徒・保護者へ迅速に発信する。			
健康教育	人権教育の推進	人権に関する昨今の法整備及び本校の実態を踏まえ、人権教育の更なる推進を図る。			
	人権意識の高揚	すべての教育活動を通して、人権を尊重する心を育む。			
	健康教育の充実	本校生徒の健康課題(体の健康と心の健康)に応じた健康教育を充実させる。			
図書活用	防災教育の充実	避難訓練をはじめ、災害に備えた防災教育の充実を図る。			
	生徒・教師が活用しやすい環境設定	授業・調べ学習・学校行事等で活用できる資料の収集と提供。図書活用を促す図書資料の紹介広報に努める。			
	文書業務・成績処理の効率化	校務システムを有効利用する等文書業務・成績処理の効率化を図る。			
情報・文書管理	個人情報に配慮した適切な情報管理を行う。	個人情報に配慮した適切な情報管理を行う。			
	情報モラルに関する指導の充実	情報モラルに関する指導を充実させる。			
	家庭・地域連携	家庭・地域社会との適切な連携に努めるとともに、小高連携・中高連携・高大連携の充実を図る。			
学習環境安全管理	安心・安全で充実した教育活動のための施設設備の充実	校舎や設備の安全を確保し、生徒の学習環境の向上に向けた施設設備の充実を図る。			
学校評価委員会による評価					
次年度に向けた改善の方向性					